

四十二年度の企画について

このほどの企画会議で、次年度の刊行予定が討議され、次のようなものがとりあげられました。案として一応ご承知おき下さいますよう。

(一) 「上毛歌の旅」

前、高崎市立図書館長 田島武夫氏の労作。

(二) 「群馬スポーツこぼれ話」

藤口末光(県教委)、高野栄次郎(高体連)、清水右平(群馬大)、正木徳次郎(前橋高)、北爪三郎(前橋市嶺小)等の各氏が多年見聞し経験した県スポーツ界の知られざる秘話・珍談等を収録する予定。

(三) 「例幣使街道の今昔」

次年度からはしまる街道シリーズ第二集として、例幣使街道の宿場めぐりをまとめます。つづいて三国街道、中山道も予定しています。

(四) 「群馬の民芸・民玩具」

民俗学研究者が多年にわたり収集、調査した県内の民芸品、民玩具を豊富な写真とともに解説いたします。

事務局通信

いつもながらのお願いですが、どうぞよろしく御協力下さい。

(一) 新会員募集について

現在会員二二〇〇余名ですが、三〇〇〇名位に増募したいと存じます。確実な会員としてご支持いただくためには、やはり現会員の方々に一人でも多くご紹介いただくことが最もよろしいと存じます。是非共ご協力下さい。

(二) 会費納入について

その年度の会費はその年の六月末日迄に前納していただくことになっており、大部分の方のご協力をいただいておりますが、未だご納入のない方もあります。是非共、早期納入にご協力下さい。尚、郵送関係の方は年間送料二〇〇円も前納して下さい。お願い申し上げます。



みやま文庫

会報

No. 10
41. 10. 1

毛古戦記」となつたわけでありませう。
尚第三回以後の予定は次の通りになっておりますのでよろしくご承下下さい。

第三回 自然の歴史
通巻二十四

上州の山と平野

これは群馬大学地学教室の木崎喜雄、新井厚夫の両博士が県内各地にて活躍している新進気鋭の学徒を指導・校閲してまとめた、地学・地質・古生物等を中心とした郷土研究の図書で、執筆中には街の考古学者として令名の高い相沢忠洋氏も加わっております。

とかく難解で敬遠され勝ちなこの分野の事項を、つとめてポピュラーに記述したもので、関係の己刊書がほとんどない本県としては貴重な資料にならうと期待しています

第四回 生きとし生けるもの(下)

通巻二十五

昨年度第四回に配本しました(上)に引き続き、主として陸上に棲息し、餌を知らず、浮遊の生活を知らない動植物の生活相をまとめたもので、各執筆者の労作に加えて、舞台回わしの解説をお書きになる五味教授の麗筆にご期待下さい。装訂は上巻と同様、小林良画圃伯をおずらわすことになつております。

四十一年度の配本について

第一回 詩人萩原朔太郎

通巻二十二

大へんおくれて申訳ございませんでしたが、本年度第一回配本として「詩人萩原朔太郎」をお届けいたします。郷土が生んだ偉大なる詩人の面影をしのびつつ、十分ご鑑賞下さい。尚、引きつづいて

第二回 上毛古戦記

通巻二十三

をお送りいたします。これは三十八年度第一回配本(通巻十)「群馬の古城跡」の続編にあたるものですが、ウエイトを中央に置いたという著者の考えもあつて、書名も「上

◇ みやま文庫収支状況について

みやま文庫の財政につきましては、会員の会費を主体に
 その他県補助金等により運営されてまいりましたが、発足
 以来5カ年、その間関係方面のご支援を得まして一応安定
 した基盤をもつに至りました。ここに遅延いたしました
 収支の状況をご報告申しあげ、ご理解をいただくとともに
 今後のご協力をお願いいたします。

自 昭和36年度 至 40年度 収 支 額

年度区分	収 入 額	支 出 額	次年度繰越額
36	2,262,581 ^円	2,099,759 ^円	162,822 ^円
37	2,340,228	2,262,288	77,940
38	2,488,979	2,354,612	134,367
39	2,772,280	2,673,741	98,539
40	2,684,624	2,674,518	10,106

○昭和40年度決算額

収 入

科 目	決 算 額
1. 会 費	2,137,750 ^円
1. 補 助 金	4,000
1. 寄 付 金	0
1. 繰 越 金	98,539
1. 雑 収 入	1,335
計	2,684,624

○昭和41年度予算額

収 入

科 目	予 算 額	説 明
1. 会 費	2,620,000 ^円	○ 会員会費
1. 補 助 金	350,000	○ 県費補助金
1. 寄 付 金	100,000	○ 寄付金
1. 繰 越 金	10,106	○ 前年度繰越金
1. 雑 収 入	105,894	○ 売収入 ○ 金利息
計	3,186,000	

支 出

科 目	決 算 額
1. 人 件 費	326,650 ^円
1. 会 議 費	42,132
1. 原 稿 料	162,050
1. 編 集 費	55,050
1. 印 刷 費	1,936,140
1. 発 送 料	73,459
1. 事 務 費	60,757
1. 諸 費	18,280
1. 予 備 費	(20,000)
計	2,674,518

支 出

科 目	予 算 額	説 明
1. 人 件 費	424,000 ^円	○ 職員給与費 ○ 賃金、旅費
1. 会 議 費	60,000	○ 理事会、運営委員会、各種会議費
1. 原 稿 料	240,000	○ 原稿料 ○ 執筆諸費
1. 編 集 費	98,000	○ 資料調査費 ○ 編集諸費
1. 印 刷 費	2,048,000	○ 文庫4巻印刷費 ○ 会報費
1. 発 送 料	120,000	○ 郵便料、配本料 ○ 自動車料
1. 事 務 費	100,000	○ 事務局費 ○ 備品費
1. 諸 費	46,000	○ 普及費 ○ 広告掲載料
1. 予 備 費	50,000	
計	3,186,000	

収支差引残額 10,106円

翌年度へ繰越

収支差引残額 なし